

料金別納郵便



はぜ

櫨ノ谷窯

吉野敬子展 —奥唐津の春—

令和3年2月13日(土)~19日(金) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時（最終日19日は午後5時まで）

作家在廊日：2月13日(土)、14日(日)

吉野敬子さんは、週末限定で『café Reed』を営業している。自家焙煎珈琲と無農薬コウカ茶（野草茶）と地産の野菜や果物を使ったスイーツが人気だ。カフェの存在が、地元の人々と櫨の谷を訪れる人々との架け橋になることを願っていることだ。昔の陶工は半農半陶だった。父親の魁さんも、畑を耕し田んぼ仕事をしながら作陶をしていた。「自然から離れない、畑から生み出されたようなやきものが私の理想です」と敬子さんはいう。だから、敬子さんが作る器は、丈夫で、使い勝手がよく、どれも自然なのだろう。敬子さんが、もう一つ魁さんから受け継いだものがある。それは茶陶唐津だ。敬子さんは、もう20年ほど茶の湯の稽古をされている。《黒唐津面取小服茶盃》は、櫨の谷の土で掌の中で繰り抜いて作ったものだ。唐津は使えば使うほど味わいが出てくる。それは土に要因がある。そんな「土に触れていると自分自身が浄化されるような気持ちになる」と敬子さんはいう。今展には、茶盃を中心に200点ほどの酒器や食器が出品される。

森 孝一（美術評論家・日本陶磁協会 常任理事）

陶歴 昭和47年 伊万里市に生まれる
平成8年 父、吉野靖義の櫨ノ谷窯にて修行
平成15年 有田窯業大学校でろくろの技術を学ぶ
平成18年 タイ、ベトナムにて現地の伝統技法を学ぶ
平成25年 櫨ノ谷窯窯主となる

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com
<https://www.kakiden.com/gallery/>



コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。
お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

